

平成23年第13回福岡県教育委員会会議（臨時会）会議録

1 開催日時

平成23年7月22日（金）14時00分から15時04分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

清原雅彦、久留百合子、住吉徳彦、太田浩二、二子石竜子
杉光誠（教育長）

4 欠席委員

なし

5 出席事務局職員

教育次長 荒巻俊彦、理事 友枝文也、総務部長 今田義雄、
教育企画部長 城戸秀明、教育振興部長 森下博輝、
総務課長 西牟田龍治、財務課長 高田光邦、文化財保護課長 伊崎俊秋、
企画調整課長 千々岩良英、社会教育課長 中菌宏、
教職員課長 川添弘人、施設課長 辰田一郎、高校教育課長 吉田法稔、
義務教育課長 家宇治正幸、人権・同和教育課長 大場茂嘉、
体育スポーツ健康課長 梅田保人

6 会議

14時00分、清原委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

協議（2）及び第21号議案「県費負担教職員の人事について」は、久留委員から、人事に関する案件のため非公開とする発議があり、直ちに採決され、出席委員の3分の2以上の賛成をもって非公開と決定された。

その他の議案については、非公開の発議なく公開と決定された。

（1）協議

- ・平成23年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（平成22年度対象）について

千々岩企画調整課長から、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価に関して、評価項目、評価の方法及び

観点、概要、今後の日程等について説明があった。

次いで審議が行われ、久留委員から、指導が不適切な教員への指導改善研修の研修内容及び効果について質問があった。これに対し、川添教職員課長から、この研修は指導方法に課題がある教員を対象に平成20年度から教育センターで実施している。研修内容は、それぞれ研修生の課題に応じた内容となっており、所属校で模擬授業を実施し、生徒や他の教員等による評価を行うなどの研修を行い、平成22年度は研修対象者3名のうち2名が職場復帰し、1名が研修継続となったこと、また、この研修や前段階での校内研修等を通して、教員の指導力不足によるトラブルは全体的に改善されてきていることなどの説明があった。

また、同じく久留委員から、生徒や保護者等の性や心の健康問題の解決を図るため、県立高校で専門医による講演会や相談を実施しているとのことだが、その効果について質問があった。これに対し、梅田体育スポーツ健康課長から、性に関するものでは、性感染症等についての講演や相談を実施しており、性に対する不安の解消につながっていること、また心に関するものでは、個別の相談で専門医から受診を勧められ、専門的な治療に結びついて症状が回復した事例もあることなどの説明があった。これを受けて、久留委員から、来年度以降は学校での実施率だけでなく、性教育を実施することで生徒たちの意識がどのように変わってきたのかなど、具体的な成果について説明してほしいとの要望があった。

また、太田委員から、各施策の「評価・課題」のなかで、予算も含めた今後の取り組み等について、もう少し踏み込んで記載できないのかとの質問があった。これに対し、千々岩企画調整課長から、予算については単年度で計上するものであり、直接的な記載はなかなか難しいが、今後の取り組みについては、施策の有効性を踏まえながら引き続き取り組んでいくなど、記載方法について検討したい旨の説明があった。

以上で協議は終了し、このことについては、次回の教育委員会で議案として審議することとなった。

公開審議はここまでとされ、清原委員長から傍聴人に対して退出が求められた。以後非公開にて審議を行う。

- ・ 県費負担教職員の人事について

川添教職員課長から、県費負担教職員の体罰行為について説明があった。

次いで審議が行われ、このことについては、議案として審議することとなった。

(2) 議事

- ・第21号議案 県費負担教職員の人事について

川添教職員課長から、県費負担教職員による信用失墜行為に対し、懲戒の必要がある旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第21号議案は原案どおり可決された。

清原委員長が閉会を宣言し、15時04分閉会した。